

日本語－シンハラ語における格助詞相当語の対応について

Nayana Elikewala, Samantha Thelijjagoda, Ikeda Takashi

E-mail: {nayana,samanta,ikeda}@ikd.info.gifu-u.ac.jp

岐阜大学大学院工学研究科

1. はじめに

日本語とシンハラ語（スリランカの国語）の格助詞相当語の対応関係について考察した。シンハラ語は日本語と同じく膠着語に属し、同じような格助詞の体系があり、概ね対応がとれる。しかし、必ずしも1対1に対応するわけではなく、1対多、多対1の対応関係も多く、機械翻訳においてはあいまい性解消の処理が必要となってくる。

2. 日本語とシンハラ語における格助詞

シンハラ語にも、日本語にも格助詞には役割と形式という2つの側面がある。意味役割の捉え方はそれぞれの言語毎に固有の側面があり、言語間で意味と形式にずれが生じる。以下は日本語とシンハラ語間におけるその例である。

- (i) 橋をこわす සැල④ කඩනවා
- (ii) 橋をわたる සැල④ වැට වැටෙන්නවා
- (iii) මව්වෙහි ආදරය කරනවා 妻を愛する
- (iv) බල්ලන්වි බයයි 犬が怖い
- (v) ඔහු වි ගෙයක් තියෙනවා 彼には家がある

i の日本語文の「橋」は「を」格助詞によって動作の対象を表して、ii の「橋」は動作が行われる空間を表している。同じ「を」格助詞でもはたす意味役割は同じではない。シンハラ語では、i の「සැල④ (橋)」は格助詞「④」をとり（格助詞をとらないということ）、ii の「සැල④ (橋)」は格助詞「④」をとる。

また日本語の「は」と「が」の使いわけは、外国人学習者にとって難しいことの一つであるが、格助詞「に、を、が、へ、になり/で」の使いわけはスリランカの日本語学習者にとってはさらに難しい。

(iii) (iv) (v) のようにシンハラ語ではこれらの格助詞に対して同じ格助詞が対応する場合があるからである。そのためにスリランカ人学習者によく見られる誤用例として、精神的態度の対象（彼を尊敬する）の表現を言うとき「を」の代わりに「に」を使ったり、感情の対象（犬が怖い）の表現を言うとき「が」の代わりに「に」を使ったりしてしまうなどがある。

さらにシンハラ語では、生物名詞であるか、無生物名詞であるか、単数か複数かなどもによっても格助詞が異なってくることもある。

3. 日本語とシンハラ語の格助詞相当語の対応の分布

『毎日新聞』の記事約65万文を我々の研究室の文節構造解析システム ibukiB を用いて解析した結果104個の格助詞相当語が抽出された [3]。この格助詞相当語104個に対してそれぞれの例文を20文程度検討し、また内省も加え、対応するシンハラ語の格助詞相当語を列挙した。それを1対多の関係毎に整理したのが表1である。1対1の対応は70個、1対多対応は34個であった。表2は表1をシンハラ語の側から整理しなおしたものである。104個に対するシンハラ語は合計で93個であった。

表1: 日本語→シンハラ語の格助詞相当語の対応

対応関係	数	日本語格助詞相当語	シンハラ語格助詞相当語
1対1	70	① にまつわる②にかかわらず③なりに④のかわりに⑤をよそに・・・など	① සාසම්බන්ධ ② කෙසේවෙතත් ③ වහුරු වීදිනට ④ වෙනුවට ⑤ නොසලකාහැර
1対2	15	① にともない ② へ ③ により ④ のように ⑤ のすえに ⑥ なり ⑦ のおりに ⑧ のくせに	① වඳුනුව/සාසම්බන්ධ ② ව/වෙත ③ පරිදි・අනුව・යටතේ / හේතුකොටගෙන ④ ක්වගෙ / වගෙ ⑤ අවසානයේදී / ප්‍රතිඵලයක්ලෙස ⑥ හරි・හෝ/ ⑦ වෙලාවේදී / අවස්ථාවේදී ⑧ නමුත් /ත්

		⑨ をかいして ⑩ のわりに ⑪ といえども ⑫ や ⑬ にいたるまで	⑨ පාවිච්චිකර/මාර්ගයෙන් ⑩ හිතනවටවඩා / වටඩා ⑪ කියලාකිව්වත්/ පවා ⑫ ,/ සහ ⑬ මේවෙනතුරු/ පවා
1 対 3	8	① か ② から/か ③ ゆえに ④ より ⑤ において ⑥ とともに ⑦ および ⑧ または	① ද/ ද/දේ/හරි ② සිට හෝ/ දන්නේමනැතිව/ නිසාදේ ③ නිසා/ එමනිසා/ හේතුවක්දවා ④ සිට / හැර /වටඩා ⑤ දි·වලදී /අනුව/ ගැන ⑥ එක්ව /එකට/ සමග ⑦ හා· සහ/ තවද/ ඇරත් ⑧ එහෙමනැත්තම් /හෝ/ හරි
1 対 4	2	① から ② の ③ までに	① සිට/ ඉන් ·එන්/ වලින්/නිසා ② ගෙ /වල /එහි/එතේ ③ වෙනවිට/වගයෙන්/තරම්/දක්වා
1 対 5	3	① まで ② について ③ にわたり	① වෙනතුරු/වෙත /දක්වා/පවා/වෙනකල් ② ගැන·පිළිබඳව/ සමග / ගෙන්·යටතේ ④ ක්නිස්සේපැවැත්වූ /ක්නිස්සේකරනලද/පැත්තකිත්ම/පුරා/ම
1 対 6	3	① が ② と ③ にかけて	① ආ/ක් /වලට /ව /තමුත්· වුවත් ② සහ/ සමග / කියලා /ත්/ ව/ විට ③ පිළිබඳව/ වෙනවිට/ දක්වා/ ඉදිරියේදී /හොසලකාහැර/ කැපකර
1 対 7	2	① で ② のうち	① කින්/එන්/වලින්/එකෙන්/නිසා දි/වලද ② එන්/වල /කින්/ගෙන්/වලින්/එකේ/දී
1 対 8	1	① を	① ක් /ව /වලට/ව/ආ/එහි/ගැන /ඉන් එන්

表 2 : シンハラ語→日本語の助詞相当語の対応

対応関係	数	シンハラ語格助詞相当語	日本語格助詞相当語
1 対 1	70	① හසමිබන්ධ ② මේවෙනතුරු ③ කෙසේවෙතත් ④ වසුසුඤ්ඤ විදිහට ⑤ වෙනුවට	① にまつわる②にいたるまで③にかかわらず④なりに⑤のかわりに……など
1 対 2	15	① ගෙන් ② වෙත ③ වෙනවිට ④ සිට ⑤ සහ ⑥ ව ⑦ වලට ⑧ වගෙ ⑨ වගයෙන් ⑩ තමුත් ⑪ කින් ⑫ ක් ⑬ දක්වා ⑭ එන් ⑮ මාර්ගයෙන්	① から/に ② ~/まで ③ までに/にかけて ④ より/から ⑤ と/や ⑥ を/と ⑦ を/が ⑧ のような/のように ⑨ までに/として ⑩ のくせに/が ⑪ のうち/で ⑫ が/を ⑬ まで/にかけて ⑭ で/のうち ⑮ をとおして/をかいて
1 対 3	6	① වඅනුව ② සමග ③ වලින්	① によると/にによる/にともない ② と/について/とともに ③ から/のうち/で

		④ පව ⑤ අනුව ⑥ ආ	④ まで/にいたるまで/といえども ⑤ において/からいえば/にしたが って ⑥ のうち/を/が
1 対 4	1	① නිසා	① で/から/につき/ゆえに
1 対 5	1	① ට	① を/に/が/へ/になり・で

4.日シ対応の多義解消

4.1「を」のシンハラ語表現

日本語の「を」格助詞に対するシンハラ語の格助詞を訳し分ける基準について考察した(表3)。意味役割による相違に加えて、名詞の意味属性と数、また定・不定によっても異なった格助詞が選ばれる

点を整理できた。

シンハラ語の「目的格」はほとんどの場合は④であるが、精神的・感情的対象に関しては異なる捉え方をする文化であるということがいえる。

表3: 「を」格助詞に対するシンハラ語の翻訳規則

意味役割		名詞に対する制約条件 例文	動詞に対する制約条件	シンハラ語
①	精神的態度の対象	生物名詞・無生物名詞単数形 妻を愛する - විරිදව ආදරයකරතවා	叱る、蹴る、尊敬する、 好む、愛する、...	ට
		無生物名詞複数形 木々を愛する - ගස්වලට ආදරයකරතවා	叱る、蹴る、尊敬する、 好む、愛する、...	වලට
②	精神的作用・感情の志向対象	叔父の死を悲しむ මමාගෙ මරණයගැන දුක්වෙතවා	悲しむ、思う、考える、...	ගැන
③	移動動作の対象	経路 空を飛ぶ - අහසවර්ගී පියාමතවා	飛ぶ、歩く、泳ぐ、...	වර්ගී
		経由・起点・基点 橋を渡る - පාලමවර්ගී එගොඩවෙතවා	出発する、離れる、渡 る、...	ඉන්/එන්
④	その他	不定 生物名詞・無生物名詞単数形 子を守る - ලමයෙක් ආරක්ෂාකරතවා	—	ක්
		定 生物名詞 子を守る - ලමයව ආරක්ෂාකරතවා	—	ව
		無生物名詞 本を読む - පොතට කියවතවා	—	ආ

4.2「から」のシンハラ語表現

日本語の「から」格助詞に対するシンハラ語の格助詞を訳し分ける基準について考察した(表4)。

表4: 「から」格助詞に対するシンハラ語の翻訳規則

意味役割		名詞に対する制約条件 例文	動詞に関する制約条件	シンハラ語
①	場所・時間的・空間的・距離的到達点/起点	場所・時間名詞 岐阜から東京まで ගිලියව කෝකියෝ දක්වා	自然現象(聞こえる)、出現 (現れる)、自動動作(落ち る)、起点(始まる)、...	සිට
②	材料	普通名詞複数形 ミルクからチーズを作る කිරිවලින් චීස් හදනවා	作る、料理する、...	වලින්

③	受給表現		無生物名詞複数形 花から蜜をとる මල්ලලින් පැණිගන්නවා	とる、もらう、受ける、借りる、情報の供給を得る(聞く)...	ඉත්/එන්
			無生物名詞単数形 花から蜜をとる මලින් පැණිගන්නවා		
			普通名詞複数形 一個のリンゴからジュースを作る ඇපල්ගෙඩියකින් ජූස් හදනවා		
			生物名詞 友達から花をもらった යාච්චෙකුගෙන් මල් හම්බවුනා		
④	原因	不定	本の事からけんかになった පොතකනිසා රන්බවුනා	状態生起(なる)、感情・精神作用(悲しむ)...	ක්කියා
		定	食べ過ぎから眠くなった කෑවැඩිනිසා නිදිමහඟුනා		

4.3 「の」のシンハラ語表現

日本語では「名詞+の」、「数量名詞+の」、「名詞+格助詞相当語+の」など「の」を介して名詞を修飾する。日本語では一様に「の」を使って表現するがシンハラ語ではいくつかの使い分けがある。それらを訳し分けるシンハラ語翻訳規則について分

析した(表5)。「N1+格助詞相当語+の+N2」の場合、シンハラ語では「N1+格助詞相当語+N2」となり「の」に対する訳語は現れない(*1)。また数量表現では、「10本の鉛筆」は「鉛筆 10」となり「の」と「本」が現れない表現になる。

表5: 「N1 [格助詞相当語] の N2」の翻訳規則

タイプ	名詞に対する制約条件			例文		翻訳規則	
	N1		N2	日本語	シンハラ語		
N1+格助詞相当語+の+N2	—	についての、からの、...	—	国についての話	රට ගැන ආ කථාව	N1+α+N2 (*1)	
N1+の+N2	生物名詞	の	—	叔父の家	මාමා ගෙ කිවස	N1+ගෙ +N2	
	無生物名詞			単数形	木の枝		ගස එහි අතු
	無生物名詞			複数形	木々の枝	ගස් වල පිටු	N1+වල +N2
	e,i,o,u 音で終わる都道府県			東京の叔父	චෝකියෝ වල මාමා		
	数えられない名詞			砂糖の重さ	සීනි වල බර		
	aで終わる都道府県			コラバの叔父	කොලඹ ඉ මාමා		
数量	10本の鉛筆	පැන්සල් 10	N2 N1				

5. おわりに

本研究では、日-シ機械翻訳の角度から両言語の格助詞相当語を分析し、シンハラ語訳語を特定する翻訳規則を提案した。さらに多くの例文を用いて意味役割と翻訳規則を整理し、評価することが今後の課題である。

参考文献

- 『日本語文法の発想』; 森田良行-2002
- 『日本語の文法1文の骨格』; 仁田義雄、村木新次郎、柴谷方良、矢澤真人-2000
- 「文節解析システム ibukiB と大規模コーパス中の文節パターンの分布について」岸井、伊

佐治、高木、池田; 言語処理学会第9回年次大会 発表論文集-2003

- 「日本語の「に」格とシンハラ語の“Ta”格の意味的差異」宮岸哲也; 国語国文論集(第29号) 安田女子大学-1999『日本語シンハラ語辞典』; 野口忠司-1997
- 『基礎日本語文法』; 益岡隆志・田窪行則-1994